



2009年
夏季号

金沢脳神経外科病院だより

ふれあい

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 浅ノ川
金沢脳神経外科病院 広報誌
第35号
発行所/メディア広報室
石川県石川郡野々市町郷町262-2
TEL 076-246-5600
FAX 076-246-3914
http://www.nouge.net

病院理念

脳神経外科専門病院として私達は患者の皆様により高度の医療技術を提供し、公平で平等な患者中心の医療を行います。

基本方針

- 1 患者の皆様のご権利と人間性を尊重した温かい医療の提供に努めます。
- 2 地域の医療機関と連携を行い、患者の皆様が安心と満足の得られる医療の提供に努めます。
- 3 脳神経外科専門病院として、地域の救急医療の提供に努めます。
- 4 急性期から回復期リハビリ、慢性期の一貫した医療を提供します。
- 5 患者の皆様に対して、適切な言葉と態度を心がけるよう努めます。
- 6 患者の皆様のご意見、ご希望を医療に反映させるよう努めます。

患者の皆様のご権利

私達は患者の皆様のご権利を尊重し、信頼に基づいた医療を行うため、患者の皆様のご権利に関する宣言を掲げます。

- 1 適切で最善の医療を公平に受ける権利
- 2 検査や治療について真実を知り、十分な説明を受ける権利
- 3 検査や治療を受ける権利と受けることを拒否する権利
- 4 プライバシーの秘密保持を得る権利
- 5 病院や医師を自由に選択し、あるいは変更する権利

病院長

「患者様」呼称を
廃止します



病院長 佐藤 秀次

「患者様」呼称を廃止します。昨今、「モンスター患者」なるものが医療者を悩ませています。医療職員への暴言、暴力、セクハラ行為等々、心身の病んだ患者さんといえども許し難い行為が全国の医療機関で多発しています。何故にこのような患者さんが増えているのでしょうか。

人と社会の未成熟化がその根底にあることは間違いないでしょう。これに拍車をかけたのは、患者をお客様として見上げるかのポーズを取るようになった医療人の思慮不足だと思います。果たして、医療は一般的にいうサービス業でしょうか。私は否と思います。患者と医療人との間に人としての共感

と信頼なくして医療は成り立ちません。長きの努力と忍耐によって、専門知識と技術を習得した医療人だからこそ、患者は信頼を寄せ、身を任すことができるはず。一方、医療人は専門職としてのプライドに支えられているからこそ、患者の信頼にこたえるべく全力を尽くせると思っています。患者と医療人の関係を分かり易く例えるならば、医療人は病という敵、脅威に脅かされた患者を助けるべく協同して戦う患者の強力な同盟軍といえます。このような関係の中で、助ける側が助けを求めると同時に、助けられる側が助けるのは実におかしなこと。病気を診せてやっている、看護・介護させてやっているといった取り違えが起らないよう、本院は「患者様」との呼称、表記を廃止します。

これからは親しみを込めて「患者さん」と呼んで参ります。



登録医療機関紹介コーナー



斉藤小児科医院



白山ののいち医師会 会長
院長：斉藤 建二先生

人の生体の自然な防御反応などナチュラルリテイを大切にしたい診療を...

今回ご紹介する斉藤先生は、金沢大学医学部大学院(小児科学専攻)を修了され、公立松任石川中央病院で5年間勤務された後、昭和49年12月に現在の場所に斉藤小児科医院を開院されました。

先生は、第一線の小児科医として診療にあたるかたわら、平成12年より8年間、松任市(現白山市)教育委員長を務められ、平成20年から白山ののいち医師会の会長として、地域住民の健康を守るべく活躍されています。

医師になられて43年。この間の先生の診療方針は、ナチュラルリテイ(自然さ)の尊重で、発熱があったら解熱剤をすぐ使用したり、下痢があったらすぐ下痢を止めたりしないで、なぜ発熱したのか、なぜ

下痢をしたのかを考え、人の生体の自然な防御反応による治療を大切にされています。心身症状の患者さんに対しても、外面に出た訴えを受容しながら、その身体言語の意味する内面の状況を十分に理解する洞察と謙虚さが必要と考えておられます。

また、常に患者さんの目線に立ち、待ち時間を少しでも短くしようと、県内でもいち早く診察予約を携帯電話やパソコンから行えるシステムを導入されています。

「小児科医として、金沢脳神経外科病院には子供の患者さんの対応もしてもらいたい。また、医師会長としては、今後とも地域の脳卒中治療の拠点病院として治療やリハビリはもちろんのこと地域住民への啓蒙活動にも力を入れて欲しい」とおっしゃっていました。

また、「心の豊かさが求められる今日、病気を治す」という言葉があるように、医学の十分な知識や技術が要求されるだけでなく患者さん

の痛みや苦しみに共感し、つくす心、慰めそしていたわる『医の心』を持ち合わせた医療を提供していきたい」とおっしゃっていました。先生のお人柄に触れ、地域の方々が安心・納得して医療を受けることのできる地域づくりに貢献していきたいと思えます。



〒924-1086
石川県白山市馬場2丁目16番地
○電話番号
076-275-3110

○ホームページアドレス

http://www.myclinic.ne.jp/satopediat/pc/index.html

携帯電話用QRコード





リハビリ科医師

人が病気になる直後は、病気でないところはもともと元気です。たとえば、脳卒中で右の手足が急に麻痺した人では、発病時には反対の左の手足の力もとても強いのですが、入院してベッドに横たわっていると、その左の手足の力が次第に弱くなります。同様に心臓や肺などもだんだん弱くなり、入院後、元気な部分は弱る

一方です。

病気のために悪くなるのは身体の一部であり、残りの大部分は健康なのです。入院したその日から、健康な部分を健康に保ちながら、動かない部分をよくするのが急性期リハビリ医療です。急性期を過ぎても、歩くことや身の回りのことができな場合、回復期リハビリ病棟において、リハビリ医療を集中的に行い、日常生活動作の自立を支援します。

“リハビリテーション”の最初の手段である病院でのリハビリ医療はその後の回復を左右するので、私たちはよりていねいに時間をかけてこれを行います。当院の60床の急性期病棟と106床に倍増した回復期リハビリ病棟の患者さんに対して、十分なリハビリ医療を提供するには、多くのリハビリ専門職が必要です。特に脳卒中患者さんは運動麻痺のみ

“リハビリセンター”に成長

リハビリ科医3名、リハビリスタッフ34名の大部門に!!

リハビリセンター長兼副院長 山口昌夫



ならず、感覚、言語、嚥下、意識、記憶、排泄などの多種類の問題を抱えているため、いろいろなサービスを必要とします。

今年4月に、当院のリハビリ科の医師は3名に増え、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士もそれぞれ15名、13名、6名に増員されて、合計37名の大所帯となり、リハビリセンターとして再出発しました。今後も患者さんのために、チームワークを宗として、日々励みたいと思っています。



リハビリスタッフ

入院した日から点滴治療と平行して、急性期のリハビリ医療を行います。

患者さんコーナー

坪野 芳子 様

手術後の
痛みなき足かるがると

雪消えし白山を
画かむと来ぬ

撮影した写真を見せて下さり細かく説明して頂きました。手術後も病室に

幾度もきて下さり術後の背を懇ろに診察して下さいました。

この度は立派な先生にお目にかかれまして私の最高の仕合わせでございます。脊柱管狭窄症で精神も弱って何をやる気力も失っておりました。近くの病院で手術を二度もしてもらいましたが少しもよくなりませず寝台から幾度もおちてしまいました。毎日が生きる気力も失っておりました。

そんなとき、主人の友達から「良い先生を紹介するから一度診察をしてもらったら。」と言ってくれました。早速お願いしまして順番のきます日を今日か今日かと毎日お待ちしておりましたところ、病院よりお電話下さり、診察後手術して頂けることになりました。いろいろな方向から

立派な先生にこんなに親切にして頂けることよるこびに、痛みが日に日に消える様にやわらぎました。病室の皆さんとも仲良く語り合い良きことをいろいろと教えられました。先生のお写真に毎日手を合わせ感謝申し上げますこと、私の最高の仕合わせでございます。おかげさまで短歌と画の本三冊出版させて頂きました。誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

テレビドラマの ロケが行われました

夏樹静子サスペンス・ドラマ『弁護士 朝吹里矢子』の撮影が7月5日当院で行なわれました

梅雨の晴れ間を見せた日曜日朝早くから、入院患者さんやお見舞いに来られた方、近隣の皆さんが、朝吹里矢子役の真矢みきさんや風間トオルさんらを一目見ようと病院玄関に大勢集まり大変な混雑となりました。

『弁護士 朝吹里矢子』は、夏樹静子原作のドラマの一つで、1978年からテレビ朝日やTBSの2時間ミステリー・サスペンス劇場で、女優の十朱幸代さんや南果歩さん、財前直見さんらが主演した、20作を超える人気シリーズです。

今回は、フジテレビの金曜プレステーションで放送されます。

金沢と能登を舞台にストーリーがいろいろと展開され

て行きますが、2時間の放送の内、約15分が金沢脳神経外科病院で撮影されたものが放映される予定です。その15分のために1日ばかりで撮影が行なわれましたが、撮影には当院の職員もエキストラとして出演しました。撮影場面は、病院玄関から受付へ駆けつける場面、救急室で救急処置を受けたり、リハビリセンターで訓練する場面、また病室での場面などでした。出演した職員は、皆緊張しており、ごこちない演技でNGを繰り返していました。監督か

ら「OK」が出てホッとした様子で、撮影は終了しました。放送は、来年の春の予定です。当院と職員の迷演技が放映されるのが楽しみです。

出演者：真矢みき・中山麻聖・白石みき・風間トオル・渡辺いつけい・酒向芳・森次晃嗣・芳本美代子・芦川よしみ・大竹一重・寺田千穂・平澤智・神尾佑・永田恵悟・佐藤詩音・小柴大河・由紀さおり・泉谷しげる他



編集委員 / 田野・中野・綾・紺谷・釣谷